

未来の八郎湖の環境再生活動を担う 若い世代の育成

ひろげる助成

3年目

実践

環境学習プログラム
4つの完成

3つ

学生等若い世代の
参画促進

16人

今年度計画の達成度

70%

目標達成度

85%

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

メンバーが入れ替わった中での教材づくり。二つの大学にまたがって進めるプロジェクトの進行。最終的なデザイン完成までの道筋作り。クラウドファンディングによる資金集め。

■工夫した点

秋田公立美術大学の授業の一環として学生に協力してもらったこと。製作費がかさんだ分を、クラウドファンディングで補填したこと。マスメディアに取り上げてもらったこと。



課題

八郎湖の富栄養化や湖岸生態系の消失、アオコ発生、外来魚増加などの環境悪化と、その対策の行き詰まり。連携している住民団体の活動のマンネリ化と高齢化。

目標

八郎湖流域全体で住民による環境再生活動に若い世代が多数参画し、住民活動全体も活発になる。

活動内容と成果

①高校での出前授業を2回実践。環境学習プログラムが三つ、教材を含めて完成した ②「はちろりバ～HACHIRO REVIVAL～」の教材作りを通じて、秋田県立大学と秋田公立美術大学の交流ができた。また、この交流が来年度以降も継続できることになった ③「八郎湖・八郎湖学研究会」設立1年目の活動が八つ開催され、当法人が事務局としてそのサポートを行った ④地元中学・高校生に対する3年間のアンケート調査結果を集計した ⑤「一般向け環境学習プログラムガイド」を制作。来年度以降、PRIに活用していく



秋田中央高校生による田んぼの生きもの調査



秋田県立大・美大の学生とホタル観賞会

全助成期間の活動を振り返って

アンケート分析や住民団体へのフィードバックの面では、計画ほど事業は進まなかった。予定していたプログラム一つが実践できなかったものの、作った環境学習プログラム三つについては、十分使える手応えを得られた。また、高校や大学生の八郎湖への参画は、想定以上の成果が出た。当法人の資金的な問題は未だ残ったままではあるものの、できる事業の幅が広がったことで収益を得られる可能性は高まったと考えている。

活動地域 | 秋田県・八郎湖流域

〒018-1502 秋田県潟上市飯田川下蛇川字道心谷地17-4

電話：018-874-8686

E-mail：info@hachiro865.net

https://hachiro865.net/



今後の
展望

アンケート分析を進め、環境学習の効果検証はしっかり行っていく。住民団体へのフィードバックは、少しずつ取り組んでいく。本事業で作った「一般向け環境学習プログラム」をPRし、実践していく。その際、本事業でつながった大学・高校生や住民団体なども巻き込んでいく。資金面に関しては、クラウドファンディングの活用、SDGsを通じた企業との協働を図っていくことで、補助金に依存した運営を改善していきたい。